

# 平成22年3月記者懇談会

日時 平成22年3月24日（水）  
午前10時30分  
場所 政策会議室

## 1 市長あいさつ

2 市政記者クラブからの質問事項 (幹事社 東日)  
今回質問はありません。

## 3 市からの発表事項

- (1) 財務諸表（連結分）の公表について (財政課)
- (2) 新城市地域福祉計画について (福祉課)
- (3) 新城市観光基本計画について (観光課)
- (4) 常勤医師の異動について (市民病院総務課)

## 4 行事予定表

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	22年3月24日	
担当課・室名	財政課	
担当者職・氏名	課長	老平 千昌
連絡先(電話)	0536-23-7616	
連絡先(FAX)	0536-23-8388	

件名 財務諸表(連結分)の公表について

## 内容

### 新地方公会計制度の概要

- 平成18年6月「行政改革推進法」の成立を契機に、地方公共団体も資産・債務改革の一環として、「新地方公会計制度の整備」が位置付けられた。
- 平成18年8月「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」(総務事務次官通知)において、国の作成基準に準拠し、発生主義の活用及び複式簿記の考え方の導入を図り、一般会計だけでなく、地方公営企業や第三セクターなどの関連団体を含む連結ベースで財務諸表の整備に取り組むことを要請された。

### 公会計モデルの種類

基準モデル: 発生主義と複式簿記の考え方を導入、公有財産台帳は開始当初より整備

総務省方式改訂モデル: 決算統計の数値を活用、公有財産台帳の整備と複式簿記の導入は段階的に整備

### 他市の状況

県内では、15市が財務諸表を作成し、議会やホームページにて公表しています。なお、連結財務諸表は東三5市では、豊橋市が「総務省方式改訂モデル」により、平成22年1月に公表しています。

### 本市の取組

- ・ 本市が所有する全ての資産と負債が把握できる「基準モデル」を採用。
- ・ 平成20年度決算に基づく財務4表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)を作成。(連結対象は、資料P8に掲載)
- ・ 普通会計(一般会計と地域下水道会計)については、平成21年12月22日に公表しました。
- ・ 今回は、一部事務組合、広域連合、土地開発公社等の外部団体の財務諸表が揃いましたので、連結財務書類を公表します。
- ・ 今後も、この財務諸表を毎年作成し、経年的に財政分析するツールとして活用します。

詳細については、裏面のとおりです。

# 報道機関発表資料

平成18年に「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」いわゆる行革推進法が成立し、行革の一つとして各地方公共団体は資産及び債務の把握管理体制を整備することになりました。また、これと関係して政府は、地方公共団体に対し、企業会計の慣行を参考とした貸借対照表その他財務書類いわゆる「財務諸表」の整備を要請しています。

本市の財務のうち、普通会計(一般会計と地域下水道会計)分については、平成21年12月22日に財務諸表を作成し公表しました。

今回は、連結対象である特別会計と一部事務組合、広域連合、土地開発公社等の外部団体の財務諸表が揃いましたので、新城市全体の連結財務諸表を作成し、公表します。

なお、本市の財務諸表は、総務省が公表した「新地方公会計制度研究会報告書」の「地方公共団体財務書類作成にかかる基準モデル」を採用し、「貸借対照表」、「行政コスト計算書」、「資金収支計算書」、「純資産変動計算書」の連結した4表を作成しています。

今回の財務諸表の作成基準日は、前年度の会計年度最終日である平成21年3月31日としました。平成21年4月1日から平成21年5月31日までの出納整理期間の収支については、基準日まで終了したものとして取り入れています。なお、財務諸表は、今後、毎年作成していきます。

貸借対照表は、市が保有する公共施設やインフラ資産などの「資産」に対して、地方債や退職手当引当金などの将来返済しなければならない「負債」や返済を要しない「純資産」に関するストックの情報を総括的に表したものです。本市では、資産が1,808億円、負債が519億円、資産から負債を引いた純資産が1,290億円となりましたが、純資産には、道路、橋梁等換金できないインフラ資産相当分1,161億円が含まれており、これを除いた状態では、129億円のプラスとなっています。

行政コスト計算書は、1年間の行政サービス(資産形成に係るものを除く)に要したコストと、その財源の対応をフロー情報として表したものです。本市では、経常費用合計(総行政コスト)が280億円、経常収益合計(使用料等)が54億円で純経常費用(純行政コスト)はマイナス227億円となりました。この収支差額は、税、交付税、保険料、国県支出金等で賄われています。

純資産変動計算書は、貸借対照表の「純資産の部」の1年間の変動を財源の受入状況や振替の状況を細かく表したものです。本市では、税収91億円、移転収入155億円等総額383億円の財源を調達しており、これを基に純経常費用227億円、固定資産形成39億円、長期金融資産形成5億円等総額367億円の財源を使っています。純資産変動額はプラス8億円であり、当年において将来世代の負担がこれだけ減少したといえます。しかし、減価償却・直接資本消耗相当額といえる開始未分析残高の減少額より資産形成充当財源増加額の方が小さいことから、設備の更新が順調ではなく、今後、設備の更新が大きな課題となっています。

資金収支計算書は、1年間の歳計現金の出入りを「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」の3つに区分して収支を表したものです。本市では、経常収支プラス54億円、資本的収支マイナス39億円で基礎的財政収支はプラス15億円となっています。一方、財務的収支はマイナス16億円となりました。なお、財務的収支のマイナス分は、借入れる額より返済する額が上回っており、負債が減少していることを意味します。

なお、財務諸表については、職員で作成しています。今後、複式仕訳、評価手法等の変更によっては、財務諸表の内容を変更させていただく場合があります。

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	22 年 3 月 24 日	
担当課・室・グループ名	福祉課	
担当者職・氏名	課長	夏目孝温
連絡先(電話)	0536	23-7624
連絡先(FAX)	0536	23-2002
連絡先(Eメール)	<a href="mailto:fukushi@city.shinshiro.lg.jp">fukushi@city.shinshiro.lg.jp</a>	

件名 新城市地域福祉計画について

## 内容

社会福祉法第107条に基づき、地域福祉計画を策定しました。

計画策定にあたりまして、地域福祉に関係する18名の委員さんによる策定委員会を立ち上げ、ご協議いただくとともに市民アンケート、分野別、地区別座談会の実施やパブリックコメントを経て完成に至りました。

計画の基本理念は、「地域の困りごとは、地域のみんなで解決！ 山の湊しんしろ福祉のまちづくり」としました。

この計画では、身近な地域を単位とし地域住民や福祉関係者等のネットワークの力で、地域の福祉課題の共有、問題解決のための相談支援、見守り・支え合い活動の活発化、災害時要援護者対策の推進を図っていきます。

具体的には、以下の6つの基本目標を掲げ、それぞれの地域にあったプロジェクトを進めていきます。

1. 地域福祉の担い手づくり・担い手支援
2. 情報共有体制の確立
3. 多様な主体による質の高い福祉サービスの提供
4. 支援・援護が必要な方の把握と相談・権利擁護につなぐ体制の充実
5. 日常的な見守り・支え合い活動の推進
6. 災害時対応の役割分担・情報共有・連絡体制の確立

詳細につきましては、計画をご覧ください。

計画期間は、平成22年度から26年度の5年間とし、社会福祉協議会が策定しております「地域福祉活動計画」とも連携し、計画を推進していきます。

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	22年3月24日	
担当課・室名	観光課	
担当者職・氏名	課長	清水照治
連絡先(電話)	0536	32-1985
連絡先(FAX)	0536	32-2111
連絡先(FAX)	hri-kankou@city.shinshiro.lg.jp	

件名 新城市観光基本計画を策定しました。

## 内容

### ○ 目的

新東名高速道路等の開通を絶好の機会ととらえ、交通アクセスの飛躍的变化に対応し、また市民の意識の高揚を図り、市民一丸となって観光のまちづくり、地域づくりを推進することから、3市町村合併後の新城市の観光振興の指針として、計画の目的を「観光交流による地域の活性化」としています。

### ○ 策定過程

新城市では、観光基本計画を検討するに当たり、市民(299件)・来訪者(1,032件)・観光施設管理者[接客担当者を含む](140件)からアンケート調査を行い、観光に対する意識・観光ニーズ等を中心に検証し、さらに国土交通省中部運輸局の「地域観光コンサルティング事業」アドバイザー(大学教授、コンサル会社・旅行会社・出版社の担当者)による観光資源の現地視察や市内観光関連団体の関係者と意見交換会をおこない、地域資源の評価に関する提言を受けるなどの多面的な策定アプローチに取り組みました。

また、8名の委員・アドバイザーによる計画策定等委員会を6回開催し、庁内各課の調整を図りつつ、本年2月にパブリックコメントによる市民からの意見を広く求め、新城市観光基本計画を策定しました。

今後、計画推進にあたって、この基本計画に基づき、行動計画(アクションプラン)を策定し、着実な計画推進を図ります。

### ○ 計画詳細「新城市観光基本計画」

表紙・はじめに・目次

#### 第1章 新城市観光基本計画の役割

- 1 市の概要と広域的役割
- 2 計画期間
- 3 観光ニーズの多様化と観光振興の国県等の動き
- 4 新城市観光基本計画の目的

#### 第2章 新城の観光の魅力と課題

- 1 新城の地域特性と観光の魅力
- 2 新城市における観光の動向
- 3 最近の新城市における観光振興の取組
- 4 アンケート調査にみる観光の現状
- 5 旅行事業者からみた新城の観光
- 6 新城の観光が抱える課題

#### 第3章 観光振興の基本方針

- 1 市における観光の目標
- 2 主たるマーケット
- 3 観光振興の基本方針
- 4 計画の体系

#### 第4章 観光振興の取組み方向

- 1 地域資源の掘り起こしや地域資源が持つ個性の磨き上げ
- 2 既存観光施設の再生と有効活用
- 3 もてなしの心を醸成するシステムの確立
- 4 広報・誘客戦略の拡充
- 5 周辺市町村との連携・共生による広域観光の促進

#### 第5章 観光振興の施策

- 1 観光振興の重点課題
- 2 重点課題に対する主要施策

#### 第6章 計画推進のあたって

- 1 観光事業者、市民との協働
- 2 観光振興のための推進体制

#### 参考資料

- 1 観光基本計画策定経緯
- 2 観光基本計画策定等委員会
- 3 アンケート調査結果

### ○ 市民への周知方法

今後、市のホームページや広報しんしろ「ほのか」で市民にPRする予定です。

# 新城市観光基本計画策定経緯

平成21年

7月10日 新城市観光基本計画策定等業務委託の施行決定

7月17日 新城市観光基本計画策定等委員会設置

7月29日 新城市観光基本計画策定等業務委託の指名競争入札施行及び契約締結  
業務委託者 名古屋市中区 名豊コンサルタント(株)

7月24日 新城市観光基本計画策定等委員及びアドバイザーの委嘱  
(委員：6名)

新城市商工会事務局長	高田 孝典	愛知東農協組合員課長	斎藤 美代子
NPO 法人森林真剣隊事務局長	山下 修市	鳳来寺山表参道発展会長	多和田 憲孝
つくでの森の音楽祭	加藤 公子	新城市観光協会事務局長	岩田 佳久

(アドバイザー：2名)

浜松学院大学教授	榊原 省吾	(社)愛知県観光協会専務理事	杉戸 雅典
----------	-------	----------------	-------

9月 4日 新城市観光基本計画策定等委員会（第1回）

- ・委員長・副委員長選出
- ・基本計画の検討範囲と策定日程について
- ・基本計画検討にあつたてのアンケート調査の実施について

9月20日 ～ 10月6日

- ・アンケート調査

市民対象 9月28日 ～ 30日 (追加調査：10月5日～6日)

500件 回収数 299件

観光施設管理者（接客担当者を含む）対象

80件（1施設2～3人） 回収数 140件

来訪者対象

1,000件 回収数 1,032件

10月29日 新城市観光基本計画策定等委員会（第2回）

- ・アンケート調査の結果報告（単純集計）について
- ・基本計画の基本方針・重点施策の検討について

11月5日～6日 国土交通省中部運輸局「観光まちづくりマーケティング事業」

重点支援地域観光資源現地確認・意見交換会

(市内7箇所を現地調査 1泊2日)

参加者：アドバイザー（大学教授、コンサル、旅行会社）6名

地元関係者12名

- 1 1月27日 新城市観光基本計画策定等委員会（第3回）
- ・アンケート調査の結果報告（最終）について
  - ・基本計画の基本方針・重点施策の整理について
- 1 2月 8日 国土交通省中部運輸局「観光まちづくりマーケティング事業」  
重点支援地域観光資源現地確認（市内6箇所を現地調査 1日）  
参加者：アドバイザー（旅行出版社）1名
- 1 2月11日 国土交通省中部運輸局「観光まちづくりマーケティング事業」  
重点支援地域観光資源意見交換会
- ・観光資源に関する評価等について
  - ・商品化モデルのイメージ・方向性について
  - ・新城地区のイメージづくりと誘客促進の方策について
  - ・高速道路の開通を見据えた“観光まちづくり”について
- 参加者：アドバイザー（大学教授、コンサル、旅行会社）6名  
地元関係者10名
- 1 2月28日 新城市観光基本計画策定等委員会（第4回）
- ・基本計画（中間報告案）について
  - ・基本計画のアクションプラン（案）について
- 1月15日 発行 広報ほのか 2月号
- ・基本計画（案）のパブリックコメント実施を掲載
- 1月18日 新城市観光基本計画策定等委員会（第5回）
- ・基本計画（最終報告案）について
- 2月1日～2月28日 新城市観光基本計画（案）のパブリックコメント募集
- 2月9日 部長会議報告（政策会議室）
- 3月15日 新城市観光基本計画策定等委員会（第5回）
- ・基本計画（最終報告）について
- 3月24日 新城市観光基本計画（案）のパブリックコメント結果公表  
5人の市民の方から14件の意見の提出がありました。  
その意見に対し市の考え方を市ホームページでお知らせします。
- 3月24日 新城市観光基本計画の公表・記者発表

# 報道機関発表資料

(新城市)

提出日	22 年 3 月 24 日	
担当課・室	市民病院 総務課	
担当者職・氏名	課長	浅賀 邦久
連絡先(電話)	0536	23-7852
連絡先(FAX)	0536	22-2850

件名 常勤医師の異動について

◆3月31日付け退職

1)柴崎 泰(しばさき やすし)

年齢 33歳

職名 消化器科・外科医師

在職 2年

2)木村 天永(きむら たかひさ)

年齢 30歳

職名 総合内科医師

在職 3年

◆4月1日付け採用

1)杉澤 良太(すぎさわ りょうた)

年齢 30歳

職名 消化器科・外科医師

前任地 市立御前崎総合病院

2)牧野 真美子(まきの まみこ)

年齢 25歳

職名 総合内科医師

前任地 名古屋第二赤十字病院

◆4月30日付け退職

1)大西 哲朗(おおにし てつろう)

年齢 34歳

職名 整形外科医長

在職 1年1月

平成22年4月

## 新 城 市 長 日 程 予 定 表

新 城 市

作成現在日：平成22年3月24日

日	曜日	時 間	行 事	場 所		
1	木	8 : 50	辞令交付式(県等派遣職員2名)	新城市	市役所本庁舎	市長室
		9 : 00	辞令交付式(職員採用・異動辞令)	〃	勤労青少年ホーム	軽運動場
		10 : 30	教職員定期人事異動発令通知式	〃	市民体育館	第1会議室
		13 : 00	部課長会議	〃	市役所本庁舎	政策会議室
		15 : 00	辞令交付式(県からの派遣職員)	〃	〃	市長室
		15 : 30	辞令交付式(採用医師2人)	〃	〃	〃
		15 : 45	辞令交付式(教育委員会委員)	〃	〃	〃
		16 : 00	辞令交付式(学校教育課派遣指導主事)	〃	〃	〃
2	金	9 : 20	全国健康音楽研究会交流会(雨天:青年の家)	新城市	桜淵公園	
3	土					
4	日	11 : 00	新城さくらまつりのど自慢大会	新城市	桜淵公園	
5	月	9 : 00	市政経営会議	新城市	市役所本庁舎	市長室
6	火		在庁	新城市	市役所本庁舎	市長室
7	水	14 : 00	新城市区長辞令交付式・区長会議	新城市	文化会館	小ホール
8	木		在庁	新城市	市役所本庁舎	市長室
9	金		在庁	新城市	市役所本庁舎	市長室
10	土	10 : 00	しんしろ「安心・安全」まちフェスタ	新城市	文化会館	大ホール
11	日	10 : 00	春の交通安全市民運動街頭啓発	新城市	パロー新城店	
12	月		在庁	新城市	市役所本庁舎	市長室
13	火	11 : 00	愛知県農村生活アドバイザー協会新城支部懇談会	新城市	新城青年の家	集会室
		13 : 30	新城市赤十字奉仕団・新城はぐるまの会総会	〃	文化会館	大会議室
14	水	11 : 00	東三河地域交通安全対策推進連絡協議会総会	田原市	華山会館	
		13 : 00	東三河縦貫道路建設促進期成同盟会総会	〃	〃	
		14 : 00	東三河広域協議会総会	〃	〃	
		15 : 00	愛知県東三河広域観光協議会総会	〃	〃	
15	木		在庁	新城市	市役所本庁舎	市長室
16	金	9 : 30	生活環境委員辞令交付式・委員会	新城市	鳳来開発センター	
17	土					
18	日	8 : 15	春季市民体育大会総合開会式	新城市	桜淵いこいの広場	グラウンド
		13 : 30	新城市戦没者追悼式	〃	文化会館	大ホール
19	月	9 : 00	市政経営会議	新城市	市役所本庁舎	市長室
20	火	13 : 30	新城保護区保護司会・更生保護女性会合同総会	新城市	文化会館	大会議室
21	水	13 : 00	民生委員児童委員協議会総会	新城市	文化会館	大会議室
22	木	9 : 00	議員への定例報告会	新城市	市役所東庁舎	委員会室
		10 : 30	記者懇談会	〃	市役所本庁舎	政策会議室
		15 : 00	東三河商工会議所商工会正副会頭会長会議	〃	新城観光ホテル	東館
23	金	10 : 00	豊川水系総合開発促進期成同盟会	豊橋市	アイプラザ豊橋	
		18 : 30	新町地区まちづくり協議会総会	新城市	東新町公民館	
24	土	10 : 00	新城市自治基本条例を考える市民会議	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
		13 : 30	新城市身体障害者福祉協会総会	〃	市民体育館	第1会議室
25	日	10 : 00	鳳来寺山自然科学博物館学術委員総会	新城市	鳳来寺山自然科学博物館	
26	月	9 : 00	部長会議	新城市	市役所本庁舎	政策会議室
		13 : 00	新城市生活学校総会	〃	市民体育館	第1会議室
27	火	10 : 00	老人クラブ連合会総会	新城市	文化会館	大会議室
28	水	14 : 00	第153回 愛知県市長会議	岡崎市	図書館交流プラザ	
29	木	8 : 30	設楽原歴史資料館周年行事記念式典	新城市	設楽原歴史資料館	
30	金		在庁	新城市	市役所本庁舎	市長室